

芙蓉総合リース株式会社第27回 無担保社債（サステナビリティ・リンク・ボンド）の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：飯田 浩一）は、芙蓉総合リース株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本社債」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本社債は、環境省の「令和2年度サステナビリティ・リンク・ローン等モデル創出事業に係るモデル事例等」に選定されました。また、本社債発行のフレームワークについては、環境省、株式会社日本格付研究所およびイー・アンド・イー ソリューションズ株式会社による確認の結果、環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」および国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（2020年版）」に適合することが確認されています。

なお、本社債は、サステナビリティ・リンク・ボンドとして国内第二号案件であり、国内金融機関として国内初の案件となります。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集、お客さまのSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスクを設置し、その後2019年からサステナブル・ファイナンス室を新設して、これらの取り組みを強化しています。

さらに、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative^{※1}とパートナー契約を締結しています。

これらの取り組みにより、当社はさまざまなお客さまのSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

※1 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100兆ドルの債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。